

## 中国の記事から（畜産）

---

2007年2月9日号

### 目次

**◎国家糧食局、2006年第4四半期に1,350万トンの穀物を放出**

**【経済日報 2007年02月01日】**

**◎2006年第4四半期の全国穀物生産者価格は4.1%上昇**

**【経済日報 2007年02月06日】**

---

**◎国家糧食局、2006年第4四半期に1,350万トンの穀物を放出**

**【経済日報 2007年02月01日】**

2006年10～12月期の穀物値上りを受け、国家糧食局ら関係部門は最低価格で買い上げた水稲・小麦計1,350万トン放出した。2006年12月末までに放出されたのは小麦505万トン（2006年最低価格買い上げ分）、水稲845万トン（2005年最低価格買い上げ分）。国家糧食局の聶振邦・局長は旧正月（2007年2月18日）期間中の穀物・食用油の供給を確保するよう各地の関係部門に指示。また国が農業支援策を採ったことを受け、2006年の全国穀物生産量は4億9千万トンに上り、3年連続の豊作を記録、穀物の生産不足も緩和されている。

---

**◎2006年第4四半期の全国穀物生産者価格は4.1%上昇**

**【経済日報 2007年02月06日】**

国家統計局は5日、全国の農産物生産業者3万1千社が取り扱う農産物を対象に行った価格調査の結果を発表、2006年10～12月期の穀物生産者価格は前年同期比4.15%増の1kg当たり1.56元となったことを明らかにした。2006年の穀物生産価格は1～3月期が前年同期比1.43%減、4～6月期が同0.24%減、7～9月期が同3.14%減、10～12月期が同4.15%減となった。小麦をはじめとする穀物については、政府が最低買い上げ価格を実施して穀物価格の安定を確保している。その他、農業用生産財価格の上昇による穀物の生産コスト上昇も、穀物の値上がりにつながっている。

一方、2006年の全国農産物生産者価格は、1～3月期が前年同期比2.37%増、4～6月期が同2.1%減、7～9月期が同0.84%増、10～12月期が同5.54%増であった。

本情報は、株式会社日本能率協会総合研究所により  
翻訳された中国の新聞記事をもとに、同社の許可を得て  
独立行政法人農畜産業振興機構が整理したものです。